

# 令和2年度 第1回 薬事委員会報告

開催日：令和2年4月21日（火）

令和2年4月の薬事委員会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため資料の配布および審議事項に対するアンケートにて代替とした。

5月1日、事務局から薬事委員会委員長に対して各委員からのアンケート結果を報告し、報告事項と審議事項（各医薬品等の採用の可否）について「全て承認とする」ことを確認した。

## I. 新規採用申請医薬品

No.	医薬品名	分類番号	規格	薬価(円)	審議結果
	(会社名)	申請医師			
1	ハイドレアカプセル500mg	4229 抗悪性腫瘍剤	500mg1カプセル	264.10/カプセル	新規採用
	BMS	総合内科:上原			
2	ネスプ注射液120 $\mu$ gプラシリンジ	3999 持続型赤血球造血刺激因子製剤	120 $\mu$ g0.5mL1筒	15,457/筒	新規採用
	協和キリン	総合内科:上原			規格追加
3	ボトックス注用100単位	2590 A型ボツリヌス毒素製剤	100単位1瓶	68,579/瓶	新規採用
	グラクソスミスクライン	脳神経外科:大賀			規格追加
4	ドルモロール配合点眼液「センジュ」	1319 緑内障・高眼圧症治療剤	5mL	270.90/mL	新規採用
	千寿製薬	眼科:桜井			
5	チエナム点滴静注用0.5g	6139 カルバペネム系抗生物質製剤	500mg1瓶	1,210/瓶	新規採用
	MSD	ICT:金田			

### (審議内容)

#### 1 ハイドレアカプセル500mg

・1992年からある薬で、慢性骨髄性白血病、本態性血小板血症、真性多血症治療の一環として現在も有用な薬剤であり、当院でも既に実績があるため採用としたい。  
以上の理由により申請され、**新規採用が承認された。**

#### 2 ネスプ注射液120 $\mu$ gプラシリンジ

・骨髄異形成症候群(MDS)に伴う貧血に対し有用であり、輸血頻度を減らす又は輸血不要とできる効果がある。他の腎性貧血で使用するエリスロポエチンはMDSに適応がない。現在当院では30、60 $\mu$ gを採用し多数の患者に使用しているが、注射回数軽減や経費削減を目的に120 $\mu$ gを新たに採用したい。  
以上の理由により申請され、**新規採用(規格追加)が承認された。**

#### 3 ボトックス注用100単位

・上下肢痙縮におけるボトックスの必要単位数は300単位を超えることも少なくなく、特に最近では最大単位数が400単位にまで引き上げられたため、採用中の50単位の場合多数必要となる。また薬価も50単位製剤2本で100単位では割高となるため100単位製剤の採用をお願いしたい。ただ、眼瞼痙攣や顔面痙攣では50単位を使用するため、規格追加をお願いしたい。  
以上の理由により申請され、**新規採用(規格追加)が承認された。**

#### 4 ドルモロール配合点眼液「センジュ」

・緑内障の治療として $\beta$ 遮断薬、炭酸脱水酵素阻害薬はプロスタグランジン関連薬に次いで使用されている。患者の高齢化も進んでおり、治療コンプライアンスを考慮すると、配合剤は適当な治療薬であると思われる。現行では $\beta$ 遮断薬と炭酸脱水酵素阻害剤の配合薬は院内採用が無いので申請したい。  
以上の理由により申請され、**新規採用が承認された。**また、チモロールXE点眼液0.5%、タプロス点眼液0.0015%、デタントール点眼液0.01%、トラバタンズ点眼液0.004%、カルテオロール塩酸塩LA点眼液2%を削除とすることも併せて承認された。

#### 5 チエナム点滴静注用0.5g

・現在患者限定となっているが、腸球菌感染症などメロペネムでは効果の無い感染症も発生しており、そのような場合にスムーズに処方できるようにしたい。  
以上の理由により申請され、**新規採用が承認された。**

## II. 患者限定申請医薬品

No.	医薬品名	分類番号	規格	薬価(円)	審議結果
	(会社名)	申請医師			
1	イストダックス点滴静注用 セルジーン	4291 抗悪性腫瘍剤 総合内科:上原	10mg1瓶	111,785/瓶	限定採用
2	レクサプロ錠10mg 持田製薬	1179 選択的セロトニン再取り込み阻害剤 精神科:岡田	10mg1錠	196/錠	限定採用
3	チエナム点滴静注用0.5g MSD	6139 カルバペネム系抗生物質製剤 呼吸器内科:野口 整形外科:林	500mg1瓶	(旧薬価)	計2例
4	アレセンサカプセル150mg 中外	4291 抗悪性腫瘍剤 呼吸器内科:野澤	150mg1カプセル	6,737.10/カプセル	限定採用
5	ラロキシフェン塩酸塩錠60mg「EE」 エルドメット	3999 骨粗鬆症治療剤 整形外科:阿部	60mg1錠	41.30/錠	限定採用
6	ラスリテック点滴静注用7.5mg サノフィ	3959 がん化学療法用尿酸分解酵素製剤 総合内科:西村	7.5mg1瓶	52,275/瓶	限定採用
7	ユニタルク胸膜腔内注入用懸濁剤4g ノーベル	4299 悪性胸水治療剤 呼吸器内科:江渡、丸	4g1瓶	7,237/瓶	限定採用
8	デュロテップMTパッチ4.2mg ヤンセン	8219 経皮吸収型持続性疼痛治療剤 消化器内科:金田	4.2mg1枚	3,073/枚	限定採用
9	タクロリムスカプセル1mg「ニプロ」 ニプロ	3999 免疫抑制剤 循環器内科:高見	1mg1カプセル	291.70/カプセル	限定採用

### (審議内容)

#### 1 イストダックス点滴静注用

・血管免疫芽球性T細胞リンパ腫再発に対し使用したい。  
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。

#### 2 レクサプロ錠10mg

・前医からの処方継続したいため。  
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。

#### 3 チエナム点滴静注用0.5g

・腸球菌菌血症が疑われるため使用したい。  
・化膿性脊椎炎の治療のため。  
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。

#### 4 アレセンサカプセル150mg

・ALK陽性、肺腺癌の治療として使用するため。  
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。

#### 5 ラロキシフェン塩酸塩錠60mg

・持参薬継続のため。  
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。

#### 6 ラスリテック点滴静注用7.5mg

・DLBCLの患者。化学療法導入前の腫瘍崩壊予防に使用したいため。  
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。なお、使用前に患者が死亡したため、購入済・未使用として報告された。

#### 7 ユニタルク胸膜腔内注入用懸濁剤4g

・胸膜癒着目的で使用したい。  
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。

#### 8 デュロテップMTパッチ4.2mg

・デュロテップMTパッチで疼痛コントロールを行っている患者のため使用したい。  
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。

#### 9 タクロリムスカプセル1mg「ニプロ」

・持参薬継続のため。  
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。

## III. 新規院外登録申請医薬品

申請なし

#### IV. 新規採用検査試薬

No.	一般名 (会社名)	使用目的 申請者	規格等
	1	20%ホルマリン固定液25mL 武藤化学	
2	20%ホルマリン固定液8mL 武藤化学	病理組織固定用 臨床検査科:林	8mL × 100本
3	10%中性緩衝ホルマリン固定液8mL 武藤化学	病理組織固定用 臨床検査科:林	8mL × 100本

#### (審議内容)

##### 1 20%ホルマリン固定液25mL

・現使用品よりも小容量のため、購入金額の削減が見込まれる。採取検体の大きさに合わせ、適切な容量固定容器を選択することが可能となり、また分注済み試薬のため、ホルマリン暴露の軽減が期待できる。  
以上の申請理由により審議がなされ、現行品との切り替えによる採用が承認された。

##### 2 20%ホルマリン固定液8mL

・現使用品よりも小容量のため、購入金額の削減が見込まれる。採取検体の大きさに合わせ、適切な容量固定容器を選択することが可能となり、また分注済み試薬のため、ホルマリン暴露の軽減が期待できる。  
以上の申請理由により審議がなされ、現行品との切り替えによる採用が承認された。

##### 3 10%中性緩衝ホルマリン固定液8mL

・現使用品よりも小容量のため、購入金額の削減が見込まれる。採取検体の大きさに合わせ、適切な容量固定容器を選択することが可能となり、また分注済み試薬のため、ホルマリン暴露の軽減が期待できる。  
以上の申請理由により審議がなされ、現行品との切り替えによる採用が承認された。

#### V. 令和2年3月26日 抗生物質小委員会報告

- ・2月分のカルバペネム系抗生物質 (22例: 1月より5例増)
- ・2月分の抗MRSA薬 (7例: 1月より3例増)
- ・継続投与 メロペネム2例、チエナム1例
- ・ICTラウンド3回報告資料通り

#### VI. 令和2年3月1日～令和2年3月31日の医薬品情報提供

- ① Drug Information (毎週金曜日) 4回発行
- ② 医薬品切り替えのお知らせ 11回発行

#### VII. 期限切迫医薬品について

前回の薬事委員会報告後に使用された期限切れ半年以内の薬剤使用金額合計は37,916円であった旨、報告された。

#### VIII. その他

##### ① 医薬品供給情報

・アネメトロ点滴静注液500mg(院内採用品)

メーカーからの出荷調整解除については3月の薬事委員会で報告した。

院内では4月1日より患者限定使用を解除し、通常のオーダーを可能とした旨、報告された。

・ドキシソルピシン塩酸塩注射液10mg・50mg「サンド」(院内採用品)

本剤の出荷調整に関しては昨年11月の薬事委員会で報告したが、メーカーより、安定供給が整ったため4月8日から出荷調整を解除するとの連絡があった旨、報告された。

現在、代替品として日本化薬社製品を使用しているが、サンド社製品の供給が安定次第サンド社製品に戻すことが本委員会で承認されており、調製時の利便性を考慮してサンド社製品に戻したい旨、提案され承認された。

##### ② 医薬品販売中止情報

・エカベトNa顆粒66.7%「ファイザー」(院内採用品)

2020年6月に販売中止及び経過措置期間満了日は2021年3月末日の予定。

代替品として、共同入札品目のうち最も契約単価の安いエカベトNa顆粒66.7%「サワイ」を採用したい旨、提案され承認された。なお、薬価・適応症等の違いは無い。

③ 医薬品回収情報

・ハーセプチン注射用60(院内採用品)

製品バイアル内にガラス異物が認められたとの指摘があり、調査の結果、製造ラインでバイアルの破損が発生し、その破片が混入したと推察されるため一部ロットを回収するとの連絡があった旨、報告された。当薬剤部には回収対象品が12バイアルあり、全て別ロットの製品と交換された。

・ニコランジル錠5mg「日医工」(院内採用品)

安定性モニタリングにおいて、定量試験または製剤均一性試験が承認規格に適合しない結果が得られたため使用期限内の全ロットを自主回収するとの連絡があった旨、報告された。薬剤部内の在庫を回収すると共に、院内院外ともにオーダーを停止し、同日、代替薬として共同購入品目のニコランジル錠5mg「トーワ」を購入しオーダーを開始した旨、併せて報告された。

・テプレノンカプセル50mg、テプレノン細粒10%「日医工」(院内採用品)

長期安定性試験ならびに安定性モニタリングにおいて、定量試験が承認規格に適合しない結果が得られたため使用期限内の全ロットを自主回収するとの連絡があった旨、報告された。薬剤部内の在庫を回収すると共に、院内院外ともにオーダーを停止した。同日、代替薬として共同購入品目のテプレノンカプセル50mg「トーワ」およびテプレノン細粒10%「トーワ」を購入しオーダーを開始した旨、併せて報告された。

④ 後発医薬品の使用状況について(令和2年3月31日時点)

直近3ヶ月累計の後発医薬品比率(数量割合)は96.7%であり、後発医薬品使用体制加算1の算定条件である数量ベース85%以上を維持していることが報告された。また、直近3ヶ月累計のカットオフ値は61.3%であり、50%以上を維持していることが報告された。

次回開催予定日 令和2年5月19日(火) 16:00から  
(会議方法が変更となる可能性あり)